

KANAGAWA ARTS PRESS

November, 2008

神奈川県総合文化芸術情報誌

神奈川県芸術PRESS85号(通巻89号)2008年11月15日発行(奇数月15日発行)
発行/神奈川県 編集/(財)神奈川県芸術文化財団 ●禁無断転載・複写●

Creator's Voice 104

声楽家・バリトン

宮本 益光

バレエダンサー

上野 水香



芸術活動支援のページ 03&06

神奈川県内・公立施設
催し物情報 04&05

特集
県立音楽堂 春のラインナップ 07

写真:幸田 森

歌手もダンサーも生身のからだひとつで表現し
勝負する。それは、お客様にとっても
すごく魅力的に感じていただけたと思います

声楽家・バリトン

バレエダンサー

宮本 益光 上野 水香

今年で3年目を迎える神奈川県民ホールの特典「ガラコンサート」。
このコンサートの顔とも言えるバリトンの宮本益光さんと、世界の舞台でも活躍する
東京バレエ団の上野水香さんに、見どころ聴きどころをうかがいました。

**宮本さんは初回から3年連続で出演されています。
この演奏会の魅力はどこにありますか？**

宮本：それがとうとう今年は司会まで務めさせていただきます！(笑) 県民ホールのガラコンサートの魅力は、生のオーケストラをバックに、オペラもバレエも同じ舞台に出るので、いっぺんにその本質を見比べたり聴き比べたりができるということです。

最近オペラの上演では演劇的な要素を求める傾向が強いのですが、歌手にリアルな演技を求めれば求めるほど、音楽的な要素が不十分になる危険性があると思っています。でも僕は、オペラの究極の姿で、歌手は何も動かずに歌だけ歌って、お客様の心に豊かなイメージを届けることだと思うんです。「なんてドラマティックな歌唱なんだろう！」って。このガラコンサートでは演出ではなく、歌そのもので勝負する。これこそオペラ歌手の本質です。かたや上野さんは、バレエという身体表現で勝負する。今回の舞台は豪華なセットがあるわけではありませんし、歌手もダンサーも生身の体ひとつで表現し勝負するということは、お客様にとってもすごく魅力的に感じていただけるんじゃないかなと思います。

それでいてプログラムは楽しい楽曲が盛り沢山で、華やかな雰囲気なのがいいですね。

上野：そうですね。バレエとオペラ両方のファンが来てくださるから、それぞれの良さをみなさんが感じていただけるような舞台になると思います。

上野さんは神奈川県のご出身です。昨年から「かながわ観光親善大使」を務められていますね？

上野：ええ。観光親善大使を引き受けることで、横浜のような大都市の近くに箱根や鎌倉のような素晴らしい観光地がある神奈川の魅力を改めて考える機会になりました。



宮本：「大使」は(笑)、9月に「ジゼル」の主演を踊ったんですね？

上野：はい。初めて挑戦する役だったので戸惑いもありましたし、すごく美しい感情的なシーンのあるバレエ作品なので、演じていると苦しく切なくなるのですが、踊っていくうちに独特の繊細な気持ちが湧いてきたりして、とても素敵な作品だと思ってようになりました。それに本番では、お客様の気持ちが舞台と通じ合う瞬間がたくさんありました。

宮本：僕も音大生の時にバレエを数年間やりましたが、西洋の舞台芸術の所作の基本として、習っ

たことは今でも役に立っています。

バレエの先生は別世界の妖精のような方で、それも忘れられません！(笑)

ヨーロッパだと歌劇場にはオペラとバレエとが一緒に居て、二つのジャンルは密接なものですよね。美学的には同じオーケストラ音楽を通じての表現ですから、ジャンルを超えて共感できるものがあると思うんです。

県民ホールに何か思い出はありますか？

また、ご自身の今後の活動についてどんな風にお考えですか？

上野：私の地元のホールですから、デビュー前から何回も舞台を踏ませていただいています。でもいまだに関内駅から歩くと道に迷っちゃうんですよね(笑)。近くに中華街がありますので終演後も楽しみですし、山下公園の緑と海を目前にした立地環境の良さも魅力ですね。

宮本：僕も20代の頃は横浜が活動の拠点だったので、オペラ歌手として深い縁のあるホールなんです。県民ホール主催のオペラ「遠い帆」(三善晃作曲)

で、徳川家康を演じたこともあり、「第九」の演奏会が続く師走はまさに走り回らばかりですが、県民ホールのガラコンサートで気持ちよく一年を締めくめるべく気合い十分です。

上野：司会をされたり家康になったり、色々なさるんですね(笑)。でも最近私も、舞台の上で全く違う人生を生きることって、すごく楽しいと思うんです。

宮本：役を演じることで他人を知ると、新たな自分を発見することって確かにありますよね。

上野：目の前のことを一つずつベストを尽くすことで先が拓けると思い、バレエと付き合ってきましたが、最近は海外の舞台に立つことで刺激を受けながら、日本でも活動していきたいという気持ちがあります。

宮本：演奏家としては心身ともに作品と向かい合い、舞台に立ちたいと思います。一方でクラシック音楽という西洋の古典音楽があり、一人の人間としてどれだけそれと太く結びつけるか、ということも最近を考えています。それを基に、教育普及活動や文筆活動、演奏活動もやっていきたいと思っています。



最後にお客様へメッセージをお願いします。

宮本：よくぞこの方たちが集まった！という、人気実力ともに素晴らしいキャストです。オペラ、バレエ、オーケストラ、3つのジャンルが、楽しくも本気でぶつかり合うその瞬間のエネルギーを、お客様と共有するような舞台になるとと思います。

上野：1年の締めくくりを存分に楽しんで、どうぞよいお年を迎えてください！

(聞き手・文：編集部)

プロフィール

宮本益光 (声楽家・バリトン) Masumitsu MIYAMOTO

演奏、作詞、執筆と多彩な活動でクラシックのファンを急増させる21世紀のホープ。東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。2004年の宮本亜門演出の「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールで衝撃的な二期会デビューを果たす。創造性とエンターテインメントに溢れたステージで常に聴衆を魅了し、テレビやラジオでも活躍。教育プログラムでの評価も極めて高い。CDは「おやすみ」や「千の風になって」ほかをリリース。著作に「宮本益光とオペラへ行こう」がある。二期会会員
HP: <http://www.5a.biglobe.ne.jp/son-net/>

上野水香 (バレエダンサー) Mizuka UENO

5歳からバレエを始める。1993年、15歳でローザンヌ国際バレエコンクールにてスカラシップ賞を受賞した後、モナコに2年間留学。帰国後の1997年「くるみ割り人形」金平糖の精で主役デビューを果たす。2004年春、東京バレエ団に入団。「ドン・キホーテ」「ボレロ」「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」「ジゼル」などに次々と主演。美しいラインと独特の存在感で、新時代のバレリーナとして注目を集めているダンサー。神奈川文化賞未来賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞。2007年5月かながわ観光親善大使に就任。

**神奈川県民ホール 年末年越しスペシャル
ファンタスティック・ガラコンサート2008
～爛熟のオペラ&バレエ～**

指揮：松尾葉子 司会・バリトン：宮本益光

ソプラノ：白木あい テノール：樋口達哉

バレエ(東京バレエ団)：上野水香、高岸直樹

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

<プログラム>

■オペラ/プッチーニ「ボエーム」「トゥーランドット」より、ビゼー「カルメン」より 他

■オーケストラ/サン＝サーンス「サムソンとデリラ～バツカナル」、チャイコフスキー「白鳥の湖」「くるみ割り人形」より、プッチーニ「妖精ヴァルリ」より間奏曲 他

■バレエ/チャイコフスキー「白鳥の湖」第2幕～パド・ドゥ、「くるみ割り人形」第2幕～グラン・パド・ドゥ

●日時：12月28日(日) 16:00開演

●会場：神奈川県民ホール大ホール

●料金：S 6,000円 A 5,000円 B 3,000円

学生 2,000円 S ペア10,800円 ※未就学児童の入場はご遠慮願います。(託児有・要事前予約)

●チケット・お問い合わせ：

県民ホールチケットセンター TEL045-662-8866

インターネットチケットセンター(24時間受付)

URL <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

●主催：神奈川県民ホール

(指定管理者：(財)神奈川芸術文化財団)

前々号から3回シリーズで、神奈川芸術劇場（以下、芸術劇場）で何が行われようとしているのか、そして芸術劇場はどこに向かおうとしているのか、そんな気になる内容をご紹介しますが、今号が最終回になります。今号では、3つ目の「つくる」＜賑わいの創出＞に触れ、まともに入りたいと思います。

劇場のエコノミックインパクト

芸術は、それそのものに価値があります。人の創造的な営みとして、舞台上で繰り広げられる表現芸術もそれ自体に価値があるからこそ、その振興が図られようとしています。一方で、舞台芸術の創造活動は、多数の実演家、演出家、舞台照明家、舞台美術家などの人（才能）が集積し、長期間に渡って行うため、その人件費や舞台美術などの制作費などを合わせると、とてもお金のかかる営みでもあります。

そうしたことから、舞台芸術活動は、その本来価値や精神活動としての芸術の有用性のほかに、ヒト、モノ、カネの動きにより、地域の活性化に寄与するという投資的な意味での効果が求められます。これからの公共劇場には、地域文化の振興に止まらず、地域に経済的活力を生むための装置としての期待も年々高まっていると云えます。

こうした地域のエコノミックインパクトに寄与することが、芸術劇場の3つ目のテーマである③まちを「つくる」＜賑わいの創出＞ということになります。開場後の芸術劇場が舞台芸術の拠点施設として大きく発展し、人々が集い、交流し、創造活動や鑑賞活動が日常的に繰り返されることにより、地域に賑わいと活力が生まれることがこのテーマの狙いです。

また、芸術劇場では、同じ建物に入るNHK横浜放送局や横浜市を始めとした地域の関係機関と連携した事業展開を検討しています。前回触れたように、芸術劇場は年間60万人の入場者数を数える県民ホールと一体運営をしていきますので、相乗的なインパクトが大いに期待されるところです。

中心市街地の“顔”として

さて、そうしたエコノミックインパクトは文化芸術面だけで担えるものではありません。芸術劇場が建設されるエリアは「神奈川の顔としてふさわしい拠点づくり」というコンセプトの下、芸術劇場の西側と東側に商業ビルが1棟ずつ建設される横浜山下町地区再開発地域になっています。みなとみらい線の日本大通り駅と元町・中華街駅の間位置するこの再開発地域は、商業・文化関連施設が集積・連携により周辺地域の魅力向上や観光振興を大きな目標に掲げ、NHK横浜放送局のほか、レストランその他の飲食店、ホテル、小売店、オフィスなどが入った複合的で広がりをもったエリアとして街づくりをしています。そうしたエリアの中心に位置する芸術劇場は、創造性豊かでアート感覚溢れる街づくりの役割を担っています。



神奈川芸術劇場（イメージ）

歴史を刻んだ県立公共ホール

そろそろまともに入ります。県では、戦後の傷跡が残る1954年に公立の音楽専門ホールとして全国で初めて県立音楽堂を、62年に青少年文化活動の拠点として青少年センターを、高度経済成長最中の75年に全国屈指の大型多目的ホールである県民ホールを整備してきました。

築50年を越える県立音楽堂は“木のホール”として長年に渡り多くの音楽関係者、音楽ファンに親しまれています。親子二代に渡り（ひよっとしたら三代？）県立音楽堂のステージで合唱やコーラスを経験している県民の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

青少年センターは、2005年のリニューアルオープン後も青少年演劇やアマチュア演劇の活動拠点として歴史を刻み続けています。女優の五大路子さんや劇作家・演出家の横内謙介さんは、青少年センターで開催された演劇講座に高校生のときに参加したのが、今の道に入るきっかけだったと、折に触れて語っています。

県民ホールはグランドオペラ、グランドバレエ、室内楽からロック、ポップス、演歌、美術まで幅広いジャンルを網羅し、今なお文化活動や鑑賞活動の拠点施設として、その役割を担い続けています。人気アーティストのコンサートに県民ホールを訪れたことが一度や二度はある県民の方も多いことでしょう。開館以来の県民ホールの入場者は、すでに2,000万人を超えています。

仮にこれらの施設が、その時代に整備されていなかったとしたら、県内の文化芸術シーンはきっと殺風景なものになっていたに違いありません。



県立音楽堂



青少年センター



県民ホール

公共劇場の新たな挑戦

こうして今日まで、市町村立も含めて文化施設の整備が県域で進み、各々の施設は地域の文化活動拠点として多くの県民の方々に利用いただいています。しかし一方で、過去2回の本シリーズで触れたように、現在の公共ホールは主に施設利用者への貸館施設としての役割を担っているため、都内で上演されるような話題性のあるミュージカルや現代演劇などを制作、上演する、いわゆる“劇場”が県内にはありませんでした。こうした作品の鑑賞を希望する県民の方々にってはやや物足りない状況が続いていましたが、芸術劇場が開場した暁には、長期公演やフレキシブルな劇場運営により、そうした観劇ファンの方々の期待に応えていけるのではないかと考えています。

また、若手舞台人にとっても、ステップアップの場や腰を据えて創造活動に取り組む場が県内にないために、郷土意識は高くてもそうした場を求めて都内に出ざるを得ないという状況が続いていました。ようやく最近になって、クリエイティブ・シティを標榜するヨコハマを中心に新進気鋭のアーティストが集積しつつあり、舞台芸術分野でも意欲的な取り組みをする文化施設が登場してきました。しかし、まだまだ大きな潮流になっているとは言えません。芸術劇場は、そうした意欲的な施設や舞台人と連携し、これまで蒔いてきた種を芽吹かせ、大きな花を咲かせていきたいと考えています。

こうした劇場運営により、県内の文化芸術シーンに刺激を与え、県全体の文化芸術環境の底上げを図り、創造する側も享受する側も生き生きと活動できる潤いのある県土づくりに芸術劇場は寄与していきたいと考えています。

おわりに

芸術劇場がこれまで述べてきたような劇場運営ができるのも、県域に官民の文化施設の整備が進み、施設利用者ニーズやポップス系の鑑賞ニーズにある程度応えてきているという状況があるからこそ、次の扉を開くことができるというわけです。先人の先見性があって推進されてきた文化芸術環境の整備の実績を踏まえ、芸術劇場は向こう20年、30年を見据えた21世紀型の劇場運営を展開していく予定です。

そして、多くの方々のご協力、ご支援を受けながら新たな歴史を刻み続け、県民の皆さんが誇りに思えるような神奈川ブランドの一つとして、そして神奈川の文化的シンボルの一つとして育まれ、親しまれる劇場になる、そんな幸せな姿を描きつつ、これからも開設準備を進めてまいります。

*「神奈川芸術劇場」の施設概要や開設に向けた取組みについては、県のホームページ（<http://www.pref.kanagawa.jp/>）をご覧ください。

* KANAGAWA ARTS PRESSのバックナンバーは、神奈川県総合文化芸術情報ホームページ「かな@（アット）」
<http://kanagawa-at.info> をご覧ください。

県内文化情報
のページ

神奈川県内・公立施設催し物情報
(各施設掲載の電話番号にお問い合わせ下さい)

※電話番号をお確かめの上、お間違えないようお願いいたします。

横浜市

■横浜みなとみらいホール 045-682-2000

12月23日(火・祝) 14:00
クラシック・ヨコハマ ミュージック・ツリー Xmas
コンサート 清水和音(Pf)、鈴木愛理(Vn)ほか
S 6,000円 A 5,000円 学生 2,000円

■横浜美術館 045-221-0300

開催中～1月25日(日) 10:00～18:00
*金曜・土曜・祝祭日の前日と、11/23・12/24～31は
20:00まで(入館は閉館の30分前まで)
セザンヌ主義—父と呼ばれる画家への礼讃
ピカソ・ゴーギャン・マティス・モディリアーニ
一般 1,400円 大・高 1,100円 中 800円 小学生以下
無料 ※前売・各種割引料金あり

■創造空間9001(旧東横線桜木町駅舎)

12月13日(土) 13:00/16:00・14日(日) 13:00
日本—フィンランド—韓国ダンス共同制作プロジェクト
全席自由 1,000円
横浜赤レンガ倉庫1号館 045-211-1515

■横浜市民文化会館 関内ホール 045-662-8411

第3回 12月21日(日) 第4回 1月25日(日) 14:00
クラシックヨコハマ
サロンコンサート・ブリッジ@関内ホール
全席自由 1,000円

■泉区民文化センター

「テアトルフォンテ」ホール 045-805-4000
1月25日(日) 15:00
今田勝 New Year Jazz Concert 2009
全席指定 2,800円

■青葉区民文化センター

フィアホール 045-982-9999
12月20日(土) 18:00
土曜ソフレスリズ《女神との出逢い》第184回
吉野直子「キャロルの祭典」
S 5,000円 A 4,000円 学生(当日残席がある場合のみ) 1,000円

■港南区民文化センター ホール 045-848-0800

12月12日(金) 19:00
ケルティック・クリスマス2008
全席指定 4,000円 横浜市発行「優待証(65歳以上)」
をご持参の方 3,600円

■栄区民文化センターリリス 045-896-2000

12月13日(土) 14:00
新進演奏家達による「午後の音楽会 第8回」
全席自由 一般券 1,000円 リリス券 700円

■県立神奈川近代文学館 045-622-6666

11月29日(土)～1月18日(日)
9:30～17:00(入館は16:30まで)

月曜休館(祝日は開館) 12/28～1/4休館
神奈川県図書館協会創立80周年 記念展覧会
「かながわの図書館 自慢のこの一点」
同時開催
「文学の森へ 神奈川と作家たち展 第2部」
大人 250円 20歳未満及び学生 150円
高校生以下・65歳以上 無料

1月17日(土) 13:30

記念講演会
私の本について話そう「御書物同心日記」
講師:久出根達郎(小説家)
全席自由 800円 定員220名

12月20日(土) 14:00

文芸朗読会 源氏物語千年紀
瀬戸内寂聴作「藤壺」出演:有馬稲子(女優)
全席自由 1,200円 定員220名

■県立青少年センターホール

1月12日(月・祝) 14:00
神奈川開港・開国150周年メモリアルイベント
「第3回新春お楽しみKŌZA」
全席指定 18才以下 500円 一般 1,000円
県民ホールチケットセンター 045-662-8866

■県立歴史博物館 045-201-0926

12月6日(土)～1月18日(日)
9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
月曜休館(1/12は開館) 12/28～1/5休館
コレクション展 中世の板碑—館蔵コレクションを中心に—
無料

12月6日(土)～12月26日(金)

かながわの遺跡展2008
20歳以上300円 20歳未満・学生 200円(常設
展観覧料含む)※ 65歳以上・高校生以下・障害
者手帳をお持ちの方は無料

■県立金沢文庫 045-701-9069

12月11日(木)～2月15日(日)
企画展「描かれた寺社」
中世から近代までの神社仏閣の様子を描く図を特集
9:00～16:30(入館は16:00まで)
20歳以上(除学生)250円 20歳未満・学生 150
円 ※65歳以上・高校生等以下・障害者手帳を
お持ちの方は無料

12月23日(火・祝) 13:30

月例講座「もう一つの金沢名所旧跡記」
当日の観覧料 申込は往復はがきにて12/11(木)必着

1月25日(日) 13:30

月例講座
「称名寺聖教にみる解脱房奥慶」
当日の観覧料 申込は往復はがきにて1/14(水)必着

川崎市

■川崎市麻生市民館

12月5日(金) 18:30・6日(土) 14:00
川崎郷土・市民劇 川崎の海を拓いた
「池上幸豊とその妻」
大人 2,000円(当日 2,300円) 高校生以下 500円
市民劇事務局 044-200-9822

■川崎市アートセンター 044-955-0107

アルテリオ小劇場
12月18日(木) 20:00・19日(金) 15:00/20:00
・20日(土) 15:00
超・振付家シリーズvol.1 井手 茂太 イデビアン・
クルー・オム「大黒柱DAIKOKUBASHIRA」
全席指定 4,000円(当日 4,500円)

アルテリオ映像館

1月4日(日) 14:00
「しんゆり新春寄席」林家正雀、柳家一琴ほか
全席指定 2,500円(当日 3,000円)

■ミュゼ川崎シンフォニーホール 044-520-0200

MUZA de ナイトコンサート2008
12月17日(水) 19:00
第9回 ～松浦光子バイオリンガンコンサート～
1月9日(金) 19:00
第10回 ～和楽器の調べ～
全席自由 1,000円

1月3日(土) 15:00

MUZAニューイヤーコンサート2009
全席指定 3,000円

■川崎市市民ミュージアム 044-754-4500

12月13日(土)～1月12日(月・祝)
9:30～17:00(入場は16:30まで)
月曜休館(祝日の場合は翌日)・12/28～1/2休館
広重「名所江戸百景」の世界
一般 600円 学生・65歳以上 400円 中学生以下無料

横須賀・三浦地区

■よこすか芸術劇場 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>
①1月3日(土) 15:00
ニューイヤー・コンサート2009 ウィーン
シムラウス・フェスティヴァル・オーケストラ
S 5,500円 A 4,500円 B 3,500円

②1月12日(月・祝) 15:00

東京バレエ団<ニューイヤー・ガラ>
「エチュード」「ギリシャの踊り」「ホレロ」
S 9,000円 A 7,500円 B 5,000円 C 3,500円

■ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 046-823-9999

<http://www.yokosuka-arts.or.jp>
③1月18日(日) 15:00
横須賀芸術劇場リサイタル・シリーズ18
長谷川陽子チェロ・リサイタル
S 3,000円 A 2,500円
※①～③学生(24歳以下)全席半額

■横須賀美術館 046-845-1211

開催中～12月21日(日) 10:00～18:00※12/1(月)休館
「日本彫刻の近代展」明治期から1960年代まで
—日本彫刻100年の歩み—
一般 800円 高・大生・65歳以上 600円

1月24日(土)～2月4日(水) 10:00～18:00

(2/4は16:30まで)※2/2(月)休館
「児童生徒 造形作品展」
市内子どもたちの作品3000点を一堂に展示
観覧無料

■鎌倉美術館 大ホール 0467-48-4500

12月23日(火・祝) 18:00
林 英哲 スペシャルライブ 和の響
～鎌倉に轟く和太鼓の響き～
全席指定 5,000円

1月10日(土) 15:00

庄司紗矢香 ヴァイオリン・リサイタル
ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第7番 他
S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円

column: 県文化課からのお知らせ

Arts Fusion 2008 in KANAGAWA 「ドリル魂・横浜現場編」

既成のジャンルの枠を超えて融合させながら、神奈川から新しい文化芸術を創造・発信
していくArts Fusion(アーツ・フュージョン)シリーズの第7回目。今回は、建設現場を舞
台に、歌やダンス、アートサーカス等を織り交ぜた新感覚の“現場ミュージカル”を上演
します。ツルハシや電気ドリルを持って、歌い、踊りながら、若者たちが作業現場で起こる
出来事を通じて成長し、未来へ向けて一歩踏み出して姿を感動的に描き出します。

◆作・演出 横内謙介 ◆音楽監督 長谷川雅大 ◆振付 ラッキイ池田 彩木映利

◆エアリアル振付 若井田久美子

◆出演 劇団扉座十特別ゲスト

◆公演日時 平成21年 2月27日(金) 19:00(予定)、
2月28日(土) 14:00/18:00、3月1日(日) 14:00

◆会場 県立青少年センターホール

◆料金 一般 3,000円(高校生以下2,000円)
(当日)一般 3,500円(高校生以下2,500円)
県民ホールチケットセンター 045-662-8866

◆お問合せ 県文化課文化事業班 045-210-3808



作・演出 横内謙介



チケット発売
12/13(土)
より

小ホール

12月7日(日) 15:00
鎌倉能楽シリーズ 名曲鑑賞能 第4回
 狂言「寝音曲」野村萬(和泉流)
 能「自然居士」櫻間金記(金春流)
 全席指定 4,000円

■県立近代美術館

※二館共通 9:30～17:00(入館は16:30まで)
 休館日:月曜(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、
 12/29～1/3 高校生以下と障害者の方は無料・
 20名以上の団体料金あり

鎌倉館 0467-22-5000

12月6日(土)～2月1日(日)
冬の所蔵品展示 名作でたどる日本近代絵画
 一般 700円 20歳未満・学生 550円 65歳以上 350円

鎌倉別館 0467-22-7718

1月4日(日)～3月22日(日)
関合正明展
 一般 250円 20歳未満・学生 150円 65歳以上無料

■逗子文化プラザホール 046-870-6622

なぎさホール
 12月14日(日) 15:00
二期会 クラシッククリスマス
 ～聖夜に贈る歌の花束～
 全席指定 3,500円(当日4,000円)
 ペアチケット6,000円 小・中学生1,500円

1月11日(日) 15:00

第3回 市民によるニューイヤーコンサート
 全席自由 1,000円

1月24日(土) 14:00

第4回「なぎさ寄席」
 全席自由 2,500円(当日2,800円) ※3歳以下、膝上のみ無料
 送迎付きグループ券(4枚十市内タクシー送迎) 10,000円

■三浦市民ホール

12月13日(土) 14:00
第8回 市民のためのクリスマスコンサート
 全席自由 無料(入場整理券は12/1から配布)

1月25日(日) 14:00

第4回 新春シーサイドホール寄席
 全席自由 1,000円(当日1,500円)
 三浦市教育委員会生涯学習課 046-882-1111(内411)

■三崎海南神社と三崎港周辺

1月15日(木) 10:00より
国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」
 無料
 三浦市教育委員会生涯学習課 046-882-1111(内412)

■葉山町福祉文化会館 ホール 046-876-1871

1月18日(日) 15:00
開館20周年記念公演「尾高忠明&野島稔
&葉山祝祭管弦楽団 コンサート」
 全席自由 3,000円(当日3,500円)
 ※未就学児入場不可

湘南地区

■平塚市民センターホール 0463-32-2237

12月21日(日) 15:00
平塚市文化財団設立10周年記念事業
市民オペラ「カルメン」
 全席自由6,000円(学生4,000円)

1月17日(土)

文化財団シネマ劇場 世界の名作を贈る
「エディット・ピアフ」 13:00 「母べえ」 15:35
 全席自由 1,000円(高校生以下500円)

■藤沢市民会館大ホール 0466-28-1135

1月31日(土) 15:00
手塚治虫生誕80周年記念
わらび座ミュージカル「火の鳥～鳳凰編～」
 S 4,000 A 3,000円 B 2,000円(小中学生500円引)

12月3日(水) 11:30

ワンコインコンサートVOL.1 「クリスマス～ハンド
ベル」 未就学児連れ親子対象 コンサート
 自由席 500円(未就学児無料)

■湘南台文化センター市民シアター 0466-28-1135

12月20日(土) 16:00
湘南台トワイライトコンサート2008
ロベルト・シューマンの肖像
 全席指定 2,500円

■茅ヶ崎市民文化会館 0467-85-1123

12月2日(火) 14:00
アフタヌーン・コンサート
熊本マリ ピアノリサイタル
 全席指定 2,800円

12月7日(日) 14:00 **👉託児**

茅ヶ崎交響楽団創立25周年記念
第24回「第九演奏会」
 全席自由一般 2,500円 小～大学生1,500円

12月10日(水) 19:00

フィンランド・プラス
プリリアント・クリスマス・フェスティバル
 全席指定 4,500円

■秦野市文化会館 大ホール 0463-81-1211

12月23日(火・祝) 15:00
第23回丹沢音楽祭 ベートーヴェン「第九」
 全席自由 1,500円(学生 500円)

1月24日(土) 15:00

川井郁子 Concert Tour 2008～新世界～
 全席指定 4,500円

小ホール

1月31日(土) 17:00
柳ジョージSpecial Live
 全席指定 5,000円

■伊勢原市民文化会館小ホール 0463-92-2300

12月7日(日) 15:00
クリスマスコンサート
「スイスのヨーデル 北川 桜うたう」
 全席自由 500円

1月24日(土) 14:00

新春初笑い「いせはら寄席」～笑点の三遊亭
小遊三と伊勢原出身の三遊亭遊吉の兄弟会～
 全席指定 3,000円(当日 3,500円)

県央地区

■厚木市文化会館 大ホール 046-224-9999

12月21日(日) 14:00
あつぎ市民芸術文化祭市民芸術祭
あつぎ「第九」合唱団と厚木交響楽団による
ベートーヴェン「第九」合唱付き
 無料

小ホール

1月23日(金) 14:00
第3回 あつぎ寄席・春夏秋冬
春風亭昇太新春独演会
 3,000円(当日 3,500円)

1月25日(日) 13:30

第31回 厚木市児童館合唱団発表会
 無料

■大和市生涯学習センターホール 046-261-0491

12月14日(日) 13:00
平成20年度 大和市音楽フェスティバル
～吹奏楽の部～
 入場無料

■海老名市文化会館大ホール 046-232-3231

12月27日(土) 16:00
えびなベートーヴェン コンサート 第九 2008
 S 4,000円 A 3,000円

■ハーモニーホール座間 046-255-1100

12月12日(金) 18:30
アドリア海の女神「ヤドランカ」
 全席指定 5,000円

12月20日(土) 14:00

レオニド・コルキン公演 クリスマス・スペシャル
コンサート「聖夜のトランペット」
 全席指定 3,500円

1月18日(日) 15:00

ヒラリー・ハーン ヴァイオリン・リサイタル
 S 6,000円 A 4,500円 B 3,000円

■綾瀬市文化会館 大ホール 0467-77-1131

12月6日(土) 18:00
小椋佳「歌談の会」
 全席指定 4,500円

12月21日(日) 10:30 / 14:00

ウルトラマンファイティングステージ2008in綾瀬
 全席指定 一般 2,000円 小学生以下 1,000円

小ホール

1月10日(土) 14:00
あやせ芸術さいえん 箏・三絃・十七絃コンサート
～現代に伝わる音・伝えたい音～
 全席自由 500円

県北地区

■グリーンホール相模大野 大ホール チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999

12月14日(日) 16:30
第27回 相模原市民合同演奏会
—ベートーヴェン「第九」—
 全席自由 2,000円

1月18日(日) 15:00 **👉託児**

及川浩治トリオ “Bee”
 S 4,000円 A 3,000円 学生(25歳以下)は各席半額

■社のホールはしもと ホール

チケットMove(ムーヴ) 042-742-9999

12月14日(日) 14:00 **👉託児**
シリーズ“社の響き” vol.15 響きの競演
—ジャコンヌとジャコンヌ—
 全席指定 一般 3,000円 学生 1,000円
 ※当日は各席500円増し

1月12日(月・祝) 14:00 **👉託児**

ハイドン没後200年企画 2009社のホールはしもと
ニューイヤーコンサート オラトリオ「天地創造」
 全席指定 4,000円

■相模原市民ギャラリー 042-776-1262

12月6日(土)～21日(日) 10:00～19:00
 (入館は18:30まで)
吉川啓示淡彩写真画百景展
 無料

■県立相模湖交流センター 042-682-6121

12月21日(日) 17:00
やまなみクリスマスコンサート
 全席指定 大人 2,000円(当日2,500円)
 小人(高校生以下) 1,500円(当日2,000円)
 ※未就学児入場不可

1月11日(日) 13:30

新春芸芸会「寄席さがみこ」
 全席指定 大人 2,500円(当日3,000円)
 小人(高校生以下) 1,500円(当日2,000円)
 ※未就学児入場不可

■県立藤野芸術の家 042-689-3030

1月18日(日) 15:00
関孝弘のピアノコンサート
 全自由席 2,000円

西湘・足柄地区

■真鶴町立中川一政美術館 0465-68-1128

開催中(第1・3水曜及び12/28～31休館)
常設展示
 大人 600円 高校生以下 350円(団体は100円引)

■町立湯原美術館 0465-63-7788

開催中～12月27日(土) 9:00～16:30
 (入館は16:00まで)水曜及び12/28～31休館
平松礼二館企画展
「旅と風景—画家のスケッチブックから」
常設館企画展「開館10周年記念所蔵品展」
 大人 600円 小・中学生 300円(団体は100円引)

👉託児 ……託児サービス有り(事前申込)

「あいさつをしよう！」紙芝居コンテスト

県では、日本の伝統文化である「紙芝居」の制作を通して、「あいさつ」や「声かけ」で明るく安全で安心な地域社会をつくる「神奈川あいさつ一新運動」を推進するため、「あいさつ」をテーマに「紙芝居」のコンテストを開催します。
個性溢れる手づくり紙芝居をお待ちしています。

<作品の受付期間>

平成20年12月22日(月)～平成21年1月16日(金)〔消印有効〕

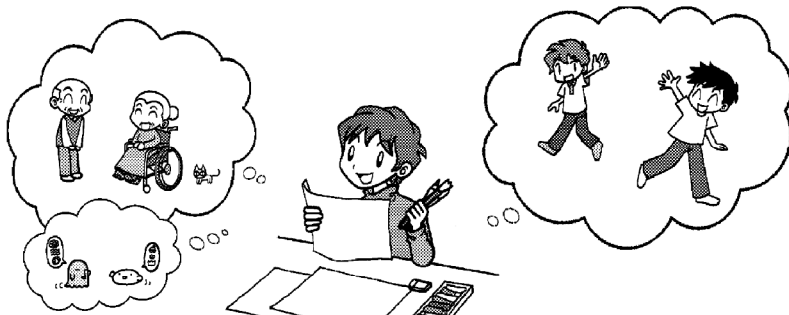
※持参される場合は期間中の
平日9:00～17:00
(12/29～1/3は除きます)。

<応募資格>

神奈川県内に在住・在学・在勤の方。

<応募部門(2部門)>

こどもの部(中学生以下)／一般の部



<内容>

紙製でB4サイズ。立体・仕掛けのないもの。
実演できる形で、枚数は15枚以内、実演時間15分以内。

<選考委員>

山上 武久氏(神奈川県子ども会連絡協議会会長)
白川 佳子氏(鎌倉女子大学短期大学部初等教育学科准教授)
長野 ヒデ子氏(紙芝居作家・絵本作家)
橋 秀文氏(神奈川県立近代美術館専門学芸員) ほか

<応募先・お問い合わせ>

●応募票とあらずじ用紙を添えてお送りください。
県県民部文化課 文化事業班「かみしばい」係
〒231-8588(所在地の記載は省略できます。)

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/kamishibai/top.html>

●応募票とあらずじ用紙は上記URLからダウンロードできます。
電話045-210-3808 FAX045-210-8840

紙芝居「大飢饉から人々を救え！」

県西地域出身の偉人・二宮金次郎(尊徳)の知られざる偉業をご紹介する紙芝居を制作いたしました。一般販売を行うとともに、県のホームページからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

【一般販売】 県庁第二分庁舎1階 県政情報センター 販売価格 531円(税込)

【金次郎紙芝居ダウンロード】

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/kamishibai/top.html>



伝統音楽人材指導者養成ワークショップ事業

今年度から2年間の予定で、県とNPO法人きょういく応援団とが共同主催形式で開講する県提案型協働事業。

本事業は、学校の先生、これから先生を目指すという学生、それから地域の実演家などを対象に、和楽器に関する知識や演奏技術を習得してもらって、日本の伝統音楽の素晴らしさを子ども達に伝えることができる指導者を養成することを目的として実施します。

単に、受講生が和楽器の知識や演奏技術を学んでおしまいという、いわゆるお稽古事ではなく、次世代を担う子ども達に繋いでいくことが重要な点となっております。

本事業は、2か年の事業となる予定であり、今年度

の事業は、下記の2講座を予定しているところです。平成21年度も実施予定であり、詳細は調整中です。そして、ワークショップを通じて作りあげた教材や、授業を行う上でのマニュアルなどを学校等へ配布していくと考えています。

【平成20年度の事業概要】

1 三味線演奏指導者育成のための実技ワークショップ(全5回)

内容 三味線音楽の歴史や三味線という楽器の説明も行いつつ、主として中棹三味線を用いた実技レッスンを行う体験中心のワークショップ。初回には、常磐津連中によるプロの演奏も鑑賞していただけます。

日程 平成20年11月30日(日)、12月7日(日)、14日(日)、21日(日)、26日(金) 各13:00～17:00

会場 県立横浜平沼高校、県立神奈川総合高校

料金 5,000円(テキスト代1,500円別途)

講師 常磐津東蔵(重要無形文化財常磐津節(総合認定)保持者)

対象 学校の先生、先生を目指している学生、地域の実演家など

定員 20名程度(募集は11月12日で締め切りました。)

備考 三味線については、主催者が貸し出しますが、お手持ちの三味線がありましたらご持参ください。なお、練習を希望される受講生には、期間中の貸出も行います。

2 授業作りのワークショップ(全1回)

「地域の実演家とコラボしようぜい!」

内容 地域の実演家に授業に入ってもらおう際の事業の組み立て方について、実際に場面を想定しながら年間の指導計画や指導案(授業)を組み立て、模擬授業を行います。

日程 平成21年2月1日(日) 10:00～16:00

会場 相模原市立富士見小学校

料金 2,000円

講師 矢野英明(元小学校校長、指導主事経験者)

対象 学校の先生及び地域の実演家

定員 30名程度(現在募集中。詳細は、下記のHP参照。)

備考 ワークショップは、実演家と教員とが1:1でペアとなって進みます。(予定)

●主催/神奈川県・NPO法人きょういく応援団 ●共催/神奈川県教育委員会

●後援/横浜市(横浜会場)、横浜市教育委員会、相模原市教育委員会(相模原会場)

●お問い合わせ/県県民部文化課文化事業班「伝統音楽ワークショップ係」〒231-8588(所在地の記載は省略できます。)

電話045-210-3808 FAX045-210-8840 <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/bunka/ongakujinzai/top.html>

#001 クラシック音楽

県立音楽堂 春のラインナップ特集

第16回神奈川国際芸術フェスティバル「明日への祝祭」
横浜開港150周年・神奈川県立音楽堂開館55周年

【art 特集1】

ヴァンサン・デュメストル&
ル・ポエム・アルモニック

古楽の世界で「いま、もっとも旬なアンサンブル」との呼び声も高い《ル・ポエム・アルモニック》。フランスのテオルボ、ギター奏者ヴァンサン・デュメストルが率いるこのアンサンブルがコンサートホールで本格的な演奏を披露するのはこの公演が初めてとあって、バロック音楽ファンの注目を集めています。

今回演奏される曲目は、音楽堂のための特別プログラム。太陽王ルイ14世の時代に使われた楽器、テオルボ、ヴィオール、ヴィオローネ等によるアンサンブルと、当時宮廷で流行した「エール・ド・クール＝宮廷の歌」から構成されています。

エール・ド・クールには恋歌が多く、くり返し部分には奏者の自由な装飾がきらめきます。現在の私たちが聴いても親しみやすく、味わい深いものばかりです。



ル・ポエム・アルモニック

◆プログラム

ムリエ:さまざまな鳥のコンサート

テシエ:フランス語による小唄(ジャンソン)「あまりに長く処女でいすぎたわ」

ムリエ:ヴィオールのためのファンタジー第1番、「嫉妬め、あちへ行け」

酒のエール「友よ、酔わせてくれ」、ガスコーニュの歌「茂みの小鳥よ」「眼よ、生きていたいなら」「天の下ではキューピッドも」

テシエ:スイス・イタリア語によるヴィラネッタ「おいらの愛しき女たち」

ムリエ:バレ「プロヴァンス公ピエールと美しきマゲロンの結婚」より器楽のアントレ、殿下のアントレ、槍の戦い、円盾の戦い、騎乗の戦い、ピエール公と臣下のアントレ、おろか者のバヴァーヌ、老ガリア人たち

ムリエ:ユダヤの歌「サラマレク・オ・ロコハ」

テシエ:スペイン語によるエール「わたしのより熱いものはなし」、トルコ風ジャンソン

2009年

4/19(日) 15:00開演 県立音楽堂

●料金 全席指定 一般 5,500円

シルバー(65歳以上) 5,000円 学生(24歳以下) 2,000円

発売日: 友の会 11/22 一般 11/24

公演前に楽しむなら? <ル・ポエム・アルモニックのCD>



「人間喜劇」



「ベッリ: 悲嘆にくれるオルフェオ他」



「旅行手帖のように」

仏アルファ・レーベル(国内マッキュー・レコード)から発売されている十数枚におよぶCDは、その多くがフランスの權威ある“ディアパゾン・ドール賞”“ショック・ド・ラネ(今年の衝撃)賞”を獲得するなど、その演奏の素晴らしさが高く評価されています。

【art 特集2】

マリア・ジョアン・ピリス
ピアノ・コンサート

ピリス(手前)とゴムツァコフ

世界の第一線で活躍する演奏家を招き、音楽堂ならではの親密な空間でその卓越した演奏をお楽しみいただく《音楽堂・ヴィルトゥオオーゾ・シリーズ》。今回は“日本中のファンがその演奏を待ち焦がれる”女性ピアニストのひとり、マリア・ジョアン・ピリスが登場します。

ピリスは1944年生まれの64歳。これまでソロ、室内楽、オーケストラとの共演で、世界中の音楽ファンに大きな感動を与えてきました。音楽堂では1969年の初登場以来4度演奏しており、なかでも1994年のオーギュスタン・デュメイ(ヴァイオリン)とのデュオ・コンサート、1996年のソロ・リサイタルでの名演は記憶に新しいことと思います。

また2007年11月には、東京でただ一度のコンサートを開催し、美しい音色と詩的な演奏で満場の聴衆を魅了しました。

今回の公演では、前述の東京公演でも共演した若手チェロ奏者バヴェル・ゴムツァコフとともに、ベートーヴェンのソナタを演奏します。

◆オール・ベートーヴェン・プログラム

ピアノ・ソナタ第30番、第31番

チェロ・ソナタ(*)第4番、第5番

*チェロ: バヴェル・ゴムツァコフ

2009年

5/7(木) 19:00開演 県立音楽堂

●料金 全席指定 一般 7,000円

シルバー(65歳以上) 6,500円

学生(24歳以下) 2,000円

発売日: 友の会 11/22 一般 11/24

【art 特集3】

クラシックな休日を
in音楽堂～祝祭編

藤岡幸夫指揮・神奈川フィルハーモニー管弦楽団
特別演奏会

ジャズの巨匠・山下洋輔、再び音楽堂に登場!

来年は、公立施設では日本初となる本格的音楽専用ホールとして県立音楽堂が開館してから55年目。同時に、長い鎖国の末に日本が世界へ扉を開いてから150年という地域の祝祭が重なります。

めでたさいっぱいのこの機会に、過去から未来へ展望するひとときを! と企画したのがこのコンサート。ぐっとさかのぼって中国から伝来した雅楽からスタートし、明治以降のクラシック音楽流入とその広がりまで、トークを交えた進行で歴史の節目をおさらいしながら、名曲を楽しんでいただく、という趣向。そして最後は、今現在の音楽の躍動と未来へ向けたエネルギーが、巨匠・山下洋輔と神奈川フィルとの競演で爆発する最新ピアノ協奏曲の初演をご体験いただきます。どうぞご期待ください!



プログラム 一柳慧/ピアノ協奏曲第4番 世界初演
(ピアノ/山下洋輔)他

出演 指揮/藤岡幸夫
管弦楽/神奈川フィルハーモニー管弦楽団
雅楽/伶楽舎

2009年

5/30(土) 15:00開演 県立音楽堂

●料金 全席指定

一般 4,500円

特別ペア券 8,000円

学生(24歳以下)

2,000円

発売日: 友の会 12/6

一般 12/10



©Megu.



*出演者、曲目は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

チケットの
お求めは



インターネットチケットセンター(24時間受付)

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc>



県民ホールチケットセンター 045-662-8866

[音楽堂チケットセンター(工事休館中)]

アクセスはホールニュースの地図を参照ください。取り扱いチケットの最新情報はホームページでご覧になれます。 <http://www.kanagawa-arts.or.jp>

かながわアートホール 第28回カジュアルコンサート Vol.2

早春の響きをあなたに
ヴァイオリンとギターとのデュオ

●出演:



ヴァイオリン 小宮直
(神奈川フィルハーモニー管弦楽団、
第2ヴァイオリン首席奏者)



ギター 坪川真理子

●曲目: (予定) ジュリアーニ/ヴァイオリンとギターの
為のソナタ ピアソラ/ナイトクラブ 他

●開催日時

2009年2月11日(水・祝) 14:00開演(13:00開場)

●お申し込み方法 往復はがきにて、1月28日(水)必
着でお申し込みください。ご希望人数(はがき1枚で2
名まで)をお書きください。返信用はがきに、郵便番号・
住所・氏名を必ずご明記ください。定員を超えた場合
抽選となります。※未就学児童のご入場はできません。

●お申し込み・お問い合わせ

〒240-0017 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2

かながわアートホール「カジュアルコンサートP係」

TEL045-341-7657

200名様



かながわアートホール 見学ギャラリー

神奈川フィルハーモニー管弦楽団リハーサル公開(予定)無料

11月	18(火)	19(水)	27(木)		
12月	2(火)	3(水)	4(木)	6(土)	
	9(火)	10(水)	11(木)	14(日)	20(土)
1月	8(木)	14(水)			

※日時・内容が変更になる場合がありますので、
詳細は神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局
(TEL045-331-4001)までお問合せください。

■休館日

11/17(月)、11/25(火)

12/1(月)、12/8(月)、12/15(月)、12/22(月)、
12/28(日)~1/5(月)、1/13(火)

横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-341-7657

<http://www.kanagawa-arts.or.jp/arhall/>

神奈川フィルハーモニー管弦楽団公演情報

神奈川フィル・チケットサービス

(平日10:00~18:00) 045-226-5107

■横浜みなとみらいホール

第249回定期演奏会 12月5日(金) 19:00

第250回定期演奏会 1月16日(金) 19:00

共に S 6,000円 A 4,500円 B 3,000円 学生(B) 1,000円

県内のアート情報はここで探そう!

かな@で県内のアート情報を検索できます。

<http://kanagawa-at.info>

Yokohama HOOD!!#8

~ストリートミュージックフェスティバル横浜~

セミファイナルを勝ち抜いたオリジナルで勝負部門、
なりぎりコピー部門、メンバー全員学生部門の各4組
が、各部門ごとにグランプリを目指して演奏を繰り広
げるライブコンテストの決勝大会です。ゲストは、サザ
ンオールスターズのコピーバンド、いとしのエリーズ。

●日 時: 12月23日(火・祝) 15:30

●会 場: 横浜赤レンガ倉庫1号館

●入場料: 1,500円(当日2,000円)+1ドリンク500円

●事業内容の詳細 <http://www.arcship.jp/yh/>

●お問い合わせ

NPO法人ARCSHIP 045-243-2247 または

神奈川県県民部文化課 045-210-3808

お届けするのは
プリウスと森の元気

神奈川トヨタは、地域社会全体に
貢献する活動の一環として
「かながわ水源の森林づくり」に
企業参加しています。



かながわ水源の森林づくり

神奈川トヨタ

<http://www.kanagawatoyota.com>

広告



神奈川県

県民部文化課 文化企画班 電話(045)210-3804(直通) FAX(045)210-8840
横浜市中区日本大通1 231-8588 電話(045)210-1111(代) 内線3804~3806
<http://www.pref.kanagawa.jp/>

うまし、あたたし、おもしろし 鈴廣 **かまぼこの里**



広告



和の食文化の深みを、
観て、触れて、味わっていただけます。



www.kamaboko.com

〒250-0032 小田原市風祭245 電話 0465-24-3141 (代)



クラフト・画材・文具の店

MONO TSUKURI
LaLaport YOKOHAMA

<http://unidy.info/uniart/>

800坪の売場に創造をかきたてる素材と道具が **100,000アイテム!**

Art — 画材 —

国内絵具、海外絵具、キャンバス、スケッチブック、イーゼル、画筆、パステル、色鉛筆、エアブラシ、デザイン用品、
日本画、書道、絵手紙、コミック、ネイルアート、製図、ステーションナリ、万年筆、洋紙、和紙、ペーパークラフト、
ウェディング

Craft — クラフト —

彫金、シルバークレイ、スタンドグラス、バーナーワーク、エッチング、陶芸、漆工芸、木彫、クラフト粘土、染色、
藤工芸、ジオラマ、鉄道模型、レーザークラフト、チャイナペイント、シルクフラワー、押し花、タイルクラフト、
トルペイント、ステンシル、ラッピング、七宝、サイエンス、子供工作、ドールハウス、アートフラワー、アロマ、
手作り時計、木工芸、電動工具、DIY

Frame — 額 —

油彩額、水彩額、立体額、デッサン額(正方形・長方形・OA・変形)、和顔(色紙・日本画・書道・短冊)、賞状額、
ポスターフレーム、フォトフレーム、掛軸、屏風、オーダーフレーム、マット加工(フィル・面金)、オーダーミラー、
裏打ち加工、表装加工

Order Studio — 印刷・加工 —

オリジナルウェア(チームシャツ ポロシャツ トレーナー アメリカンキャップ)、オーダーメモリアルグッズ(記念品)、
プライダルプリント、オリジナルウェルカムボード、デザインポスト、表札、おしゃべりハンコ、ポスター印刷、シール、
カーステッカー、オーダースタンプ、レーザー木彫刻、カッティングシート加工



ららぽーと横浜3F ヨーカドールさんとなり

車でアクセス

東名高速道路 横浜青葉ICより4.5km

第三京浜 港北ICより2.5km

電車でアクセス

JR横浜線鶴屋川駅より徒歩7分

無料シャトルバスのご案内

鶴屋川北口発 毎時 00分・30分

(始発のみ9:40発/最終21:00発)

ららぽーと横浜発 毎時00分・30分

(始発のみ10:00発/最終21:30発)

ららぽーと横浜店

横浜市都筑区池辺町4035-1

045-414-2370

営業時間 AM10:00~PM9:00

Uniart 湘南平塚店

神奈川県平塚市久保堤1-2

0463-25-0784

営業時間 AM9:30~PM9:00

広告